Nikon

AF-S DX VR Zoom-Nikkor 18-200mm f/3.5-5.6G IF-ED

使用説明書
Instruction Manual
Bedienungsanleitung
Manuel d'utilisation
Manual de instrucciones
Manuale di istruzioni
使用说明书
使用說明書

Jp En De Fr Es It Ck Ch

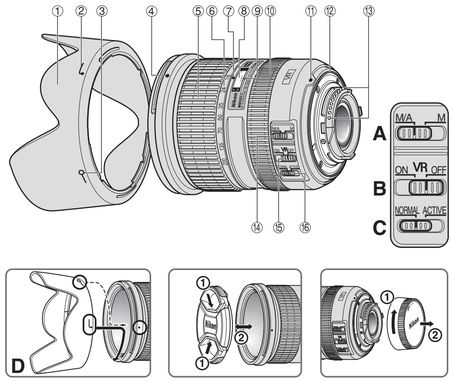
CE

使用説明書の内容が破損などによって判読できなくなったときは、ニコンサービスセンターにて新しい使用説明書をお求めください(有料)。

No reproduction in any form of this manual, in whole or in part (except for brief quotation in critical articles or reviews), may be made without written authorization from NIKON CORPORATION.

NIKON CORPORATION
FUJI BLDG., 2-3, MARUNOUCHI 3-CHOME, CHIYODA-KU,
TOKYO 100-8331, JAPAN

Printed in Japan TT6A01000301 (80) 7MAA2680--



① フード
Lens hood
Gegenlichtblende
Parasoleil
Visera del objetivo
Paraluce
鏡头遮光罩　鏡頭遮光罩

② フード取り付け指標
Lens hood attachment index
Gegenlichtblende-Anbringindex
Index de fixation du parasoleil
Indice de acoplamiento de la visera del objetivo
Indice di collegamento del paraluce
镜头遮光罩接头标志
鏡頭遮光罩接頭標記

③ フードセット指標
Lens hood setting index
Gegenlichtblende-Einstellindex
Index de réglage du parasoleil
Indice de ajuste de la visera del objetivo
Indice di regolazione del paraluce
镜头遮光罩设定标志
鏡頭遮光罩設定標記

④ フード着脱指標
Lens hood mounting index
Gegenlichtblende-Montageindex
Index de montage du parasoleil
Indice de montura de la visera del objetivo
Indice di montaggio del paraluce
镜头遮光罩安装标志
鏡頭遮光罩安裝標記

⑤ ズームリング
Zoom ring
Zoomring
Bague de zoom
Anillo de zoom
Anello dello zoom
变焦环　變焦環

⑥ 焦点距離目盛
Focal length scale
Brennweitenskala
Echelle de focale
Escala de distancias focales
Scala della lunghezza focale
焦距刻度　焦距刻度

⑦ 焦点距離目盛指標
Focal length index
Brennweiten-Index
Index des distances focales
Indicador de distancias focales
Indice delle distanze focali
焦距刻度标志　焦距刻度標誌

⑧ 距離目盛
Distance scale
Entfernungsskala
Echelle des distances
Escala de distancias
Scala delle distanze
距离刻度　距離刻度

⑨ 距離目盛基準線
Distance index line
Entfernungs-Indexlinie
Ligne de repère des distance
Línea indicadora de distancias
Contrassegno distanza
距离标线　距離標線

⑩ フォーカスリング
Focus ring
Entfernungseinstellring
Bague de mise au point
Anillo de enfoque
Anello di messa a fuoco
对焦环　對焦環

⑪ レンズ着脱指標
Mounting index
Objektivindex
Indice de montage
Indice de monturas
Indice di montaggio
安装标志　安裝標誌

⑫ レンズマウントゴムリング
Lens mount rubber gasket
Gummiring der Objektivfassung
Joint en caoutchouc de l'objectif
Junta de goma de montaje del objetivo
Guarnizione in gomma della montatura dell'obiettivo
镜头安装橡皮垫圈
鏡頭安裝橡皮墊圈

⑬ CPU信号接点
CPU contacts
CPU-Kontakte
Contacts CPU
Contactos CPU
Contatti CPU
CPU触点　CPU觸點

⑭ フォーカスモード切り換えスイッチ
Focus mode switch
Fokussierschalter
Commutateur de mode de mise au point
Interruptor de modo de enfoque
Interruttore del modo di messa a fuoco
对焦模式开关　對焦模式開關

⑮ 手ブレ補正スイッチ
Vibration reduction ON/OFF switch
ON/OFF-Schalter zur Vibrationsreduktion
Commutateur ON/OFF (MARCHE/ARRET) de réduction de la vibration
Interruptor de ON/OFF de reducción de vibración
Interruttore di ON/OFF della riduzione delle vibrazioni
减振ON/OFF开关　減振ON/OFF開關

⑯ 手ブレ補正モード切り換えスイッチ
Vibration reduction mode switch
Schalter zur Vibrationsreduktion (VR-Schalter)
Commutateur de mode de réduction de vibration
Interruptor de modo de reducción de vibración
Interruttore della modalità di riduzione delle vibrazioni
减振模式开关　減振模式開關

日本語

このたびはDXニッコールレンズをお買い上げいただきありがとうございます。このレンズは、ニコンDXフォーマットのニコンデジタル一眼レフカメラ（D2シリーズ、D50など）専用です。ニコンDXフォーマットでの撮影画角は、35mm判換算で焦点距離の約1.5倍の焦点距離に相当する画角になります。ご使用の前に、この「使用説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、「安全上のご注意」を必ずお読みください。

主な特長

- このレンズは、俊敏で静かなAF（オートフォーカス）撮影を可能にするレンズ内超音波モーター（サイレント・ウェーブ・モーター）駆動方式を採用した高性能なズームレンズです。
- 手ブレ補正機能（VRⅡ）を使用すると、使わないときと比べ約4段分*シャッタースピードを遅くして撮影できるため、シャッタースピードの選択の範囲が広がり、手持ちの望遠撮影が容易です。
  *当社測定条件による
- AF（オートフォーカス）撮影およびMF（マニュアルフォーカス）撮影の切り換えが簡単にできるフォーカスモード切り換えスイッチを装備しています。
- AF撮影中にも瞬時にマニュアルフォーカスモードに切り換えることのできる「マニュアル優先オートフォーカス」機能を装備しています。
- 被写体までの距離情報をカメラボディー側に伝達する機能を備え、3D測光機能を持ったカメラとの組み合わせ時には、より的確な露出制御を実現します。

ズーミングと被写界深度

撮影を行う場合は、ズームリング⑤を回転させ構図を決めてから、ピント合わせを行ってください。プレビュー（絞り込み）機構を持つカメラでは、撮影前に被写界深度を確認することができます。

- ニコン内集方式は、通常のレンズと異なるため、至近距離になると焦点距離が若干短くなります。

ピント合わせの方法

ご使用のカメラや撮影目的によって、下表のようなピント合わせが選択できます。

カメラのフォーカスモード	レンズの設定モード	
	M/A	M
AF（C／S）	マニュアル優先オートフォーカス撮影	マニュアルフォーカス撮影（フォーカスエイド可）
M	マニュアルフォーカス撮影（フォーカスエイド可）	

■ M/A（マニュアル優先オートフォーカス）モードの使い方（図A）

1 レンズのフォーカスモード切り換えスイッチ⑭をM/Aにセットします。
2 オートフォーカス撮影時、シャッターボタンを半押ししたまま、あるいはAF作動ボタンを保持したまま、フォーカスリングを手で回転させると、瞬時にマニュアルフォーカス撮影が行えます。
3 シャッターボタンの半押しやAF作動ボタンを再度操作するとAFで撮影が可能となります。

■オートフォーカスが苦手な被写体について

裏面の「広角・超広角レンズのオートフォーカス撮影について」をご覧ください。

手ブレ補正機能（VRⅡ）

■ 手ブレ補正機能の概念図

■ 手ブレ補正スイッチの使い方（図B）

ON：シャッターボタンを半押しすると、手ブレを補正します。ファインダー内の画像のブレも補正するため、ピント合わせが容易で、フレーミングしやすくなります。
OFF：手ブレを補正しません。

■ 手ブレ補正モードの切り換えスイッチの使い方（図C）

NORMAL：主に、通常の手ブレを補正します。パンニングに対応し、流し撮りも行えます。
ACTIVE：乗り物に乗っている等、揺れの激しい条件でのブレから通常の手ブレを補正します。
このモードではパンニング自動検出は行いません。

■ 手ブレ補正使用時のご注意

- シャッターボタンを半押し後、ファインダー内画像が安定してから撮影されることをおすすめします。
- 流し撮りする場合は、必ずNORMALモードにしてください。NORMALモードでは、流し撮りなどでカメラの向きを大きく変えた場合、流した方向の手ブレ補正は機能しません。例えば、流し撮りで横方向にパンニングすると、縦方向の手ブレだけが補正され、流し撮りが行えます。
- 手ブレ補正の原理上、シャッターレリーズ後にファインダー像がずれることがあります。
- 手ブレ補正中にカメラの電源スイッチをOFFにしたり、レンズを取り外したりしないでください。（その状態でレンズを振るとカタカタ音がすることがありますが、故障ではありません。カメラの電源スイッチを再度ONにすれば、音は消えます。）
- 内蔵フラッシュ搭載のカメラ（D70シリーズ、D50など）で、内蔵フラッシュ充電中には、手ブレ補正は行いません。
- 三脚を使用するときは、手ブレ補正スイッチをOFFにしてください。ただし、三脚を使っても雲台を固定しないときや、一脚を使用するときには、スイッチをONにすることをおすすめします。
- AF作動ボタンのあるカメラで、AF作動ボタンをONにしても、手ブレ補正は作動しません。

カメラ内蔵フラッシュ使用時のご注意

クラレ(写真の一部に影ができる)を防止するため、レンズフード①は取り外して使用してください。

デジタル一眼レフカメラ	クラレなく撮影できる焦点距離と撮影距離
D100/D200	● 焦点距離18mmでは、撮影距離1.0m以上。 ● 焦点距離24mm以上は制約なし。
D70s/D70/D50	● 焦点距離24mmでは、撮影距離1.0m以上。 ● 焦点距離35mm以上は制約なし。

絞り値の設定

絞り値を設定する場合は、カメラで設定してください。

開放F値の変化

このレンズはズーミングにより、開放F値が最大1 1/3段変化します。ただし、この変化量はカメラが自動的に補正しますので、露出を決める際に考慮する必要はありません。また、内蔵露出計使用時やTTL調光によるスピードライト撮影時はもとより、外部露出計使用時やTTL調光以外でのスピードライト撮影においてもカメラに表示される絞り値を使用すれば、このズーミングによる開放F値変化に対する補正は不要です。

バヨネットフードHB-35の取り付け、取り外し

■取り付け方

レンズ先端のフード着脱指標④とフード取り付け指標（ ）を合わせ、カメラ側から見て反時計回りにカチッと音がするまでフード①を回転させ、確実に取り付けます。(図D)

- フード着脱指標とフードセット指標（ ）③が合っていることを確認してください。
- フードが正しく取り付けられないと撮影画面にケラレを生じますのでご注意ください。
- フード先端を強くつかむと着脱が困難になります。着脱の際は、フードの根元（フード取り付け指標部分）付近を持って回転させてください。
- 収納時はフードを逆向きにしてレンズに取り付けることができます。

■取り外し方

フードの根元（フード取り付け指標部分）付近を持ち、カメラ側から見て時計回りにフードを回転させて取り外します。

レンズのお手入れと取り扱い上のご注意

- レンズのCPU信号接点⑬は汚さないようにご注意ください。
- レンズマウントゴムリング⑫が破損した場合は、そのまま使用せず修理を依頼してください。
- レンズ面の清掃は、ホコリを拭き程度にしてください。指紋がついたときは、柔らかい清潔な木綿の布に無水アルコール(エタノール)または市販のレンズクリーナーを少量浸ひた、レンズの中心から外周へ渦巻状に、拭き上ろ、拭き残りのないように注意して拭いてください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- レンズ表面の汚れや傷を防ぐためには、NCフィルターをお使いいただけます。また、レンズフード①も役立ちます。
- レンズをケースに入れるときは、必ず、レンズキャップを前後に取り付けてください。
- レンズを長期間使用しないときは、カビやサビを防ぐために、高温多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光のあたるところ、ナフタリンや揮発のあるところに保管してください。
- レンズを水に濡らすと、部品がサビつくなどして故障の原因となりますのでご注意ください。
- ストーブの前など、高温になるところに置かないでください。極端に温度が高くなると、外観の一部に使用している強化プラスチックが変形することがあります。

付属アクセサリー

- 72mmスプリング式レンズキャップ LC-72　● 裏ぶた LF-1　● バヨネットフード HB-35
- ソフトケース CL-1018

別売アクセサリー

- 72mmねじ込み式フィルター

使用できないアクセサリー

- テレコンバーター：全種類　● オート接写リング：PKリング全種類　● Kリング：全種類
- オートリング：BR-4　● ベローズアタッチメント：全種類

※その他のアクセサリーでも、使用できない場合があります。アクセサリーの使用説明書でご確認ください。

仕　様

型式：	ニコンDXマウントCPU内蔵Gタイプ、AF-S DXニッコールズームレンズ（ニコンデジタル一眼レフカメラ［ニコンDXフォーマット］専用）
焦点距離：	18mm — 200mm
最大口径比：	1：3.5 — 5.6
レンズ構成：	12群16枚（非球面レンズ3枚、EDレンズ2枚）
画角：	76° — 8°
焦点距離目盛：	18、24、35、50、70、135、200mm
撮影距離情報：	カメラボディーへの撮影距離情報出力可能
ズーミング：	ズームリングによる回転式
ピント合わせ：	IF（ニコン内集）方式、超音波モーターによるオートフォーカス、マニュアルフォーカス可能
手ブレ補正：	ボイスコイルモーター（VCM）によるレンズシフト方式
撮影距離目盛：	∞—0.5m、3ft.（併記）
最短撮影距離：	0.5m（ズーム全域）
絞り羽根枚数：	7枚（円形絞り）
絞り方式：	自動絞り
絞りの範囲：	焦点距離18mm時 f 3.5—22、200mm時 f 5.6—36
測光方式：	開放測光
アタッチメントサイズ：	72mm（P = 0.75mm）
大きさ：	約77mm（最大径）× 96.5mm（バヨネット基準面からレンズ先端まで）
質量（重さ）：	約560g

- 仕様、外観の一部を、改善のため予告なく変更することがあります。

安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。この「安全上のご注意」は製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、重要な内容を記載しています。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

表示について

表示と意味は次のようになっています。

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例

△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
⃠記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合は電池を取り出す）が描かれています。

⚠ 警 告

分解したり修理・改造をしないこと
感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと
感電したり、破損部でケガをする原因となります。
カメラの電池を抜いて、販売店またはニコンサービスセンターに修理を依頼してください。

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかにカメラの電池を取り出すこと
そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。電池を取り出す際、やけどに十分注意してください。電池を抜いて、販売店またはニコンサービスセンターに修理を依頼してください。

水にかけたり水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと
発火したり感電の原因となります。

引火・爆発のおそれのある場所では使用しないこと
プロパンガス・ガソリンなどが火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ないこと
失明や視力障害の原因となります。

⚠ 注 意

ぬれた手でさわらないこと
感電の原因になることがあります。

製品は幼児の手の届かないところに置くこと
ケガの原因になることがあります。

使用しないときは、レンズにキャップをつけるか太陽光のあたらない所に保管すること
太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。

三脚にカメラやレンズを取り付けたまま移動しないこと
転倒したりぶつけたりしてケガの原因になることがあります。

English

Thank you for purchasing the AF-S DX VR Zoom-Nikkor 18-200mm f/3.5-5.6G IF-ED. DX Nikkor lenses are specially designed for use with Nikon digital SLR (Nikon DX format) cameras, such as the D2-Series and D50. When mounted on Nikon DX format cameras, the lens' picture angle is equivalent to approx. 1.5x focal length in 35mm format. Before using this lens, please read these instructions and the Notes on Safety Operations.

Notes on Safety Operations

⚠ CAUTION

Do not disassemble
Touching the internal parts of the camera or lens could result in injury. Repairs should be performed only by qualified technicians. Should the camera or lens break open as the result of a fall or other accident, take the product to a Nikon-authorized service representative for inspection after unplugging the product and/or removing the battery.

Turn off immediately in the event of malfunction
Should you notice smoke or an unusual smell coming from the camera or lens, remove the battery immediately, taking care to avoid burns. Continued operation could result in injury. After removing or disconnecting the power source, take the equipment to a Nikon-authorized service representative for inspection.

Do not use the camera or lens in the presence of flammable gas
If the electronic equipment is operated in the presence of flammable gas, it could result in an explosion or a fire.

Do not look at the sun through the lens or viewfinder
Viewing the sun or other strong light sources through the lens or viewfinder could cause permanent visual impairment.

Keep out of reach of children
Particular care should be taken to prevent infants from putting the batteries or other small parts into their mouths.

Observe the following precautions when handling the camera and lens
- Keep the camera or lens unit dry. Failure to do so could result in a fire or electric shock.
- Do not handle or touch the unit with wet hands. Failure to do so could result in electric shock.
- When the lens will not be used for a long time, attach both front and rear lens caps and store the lens away from direct sunlight. Failure to do so could result in a fire, as the lens might focus sunlight onto an object.

Major features

- This is a high-grade, internal focusing (IF) lens employing a Silent Wave Motor to drive the focusing mechanism, thus the "S" designation. As a result, autofocusing is smooth, silent, and almost instantaneous.
- With this lens, you can take pictures at shutter speeds approx. 4 stops* slower than you ordinarily could without using a VR lens, expanding the range of usable shutter speed options and making telephoto shooting much easier without a tripod.
  *Under Nikon measurement conditions
- Autofocus (A) or manual (M) mode can easily be selected with the focus mode switch.
- Autofocusing with manual override is provided, allowing instant change from autofocusing to manual focusing.
- More accurate exposure control is possible when this is mounted on a Nikon camera having 3D Matrix Metering capability, because subject distance information is transferred from the lens to the camera body.

Focusing, zooming, and depth of field

First turn the zoom ring ⑤ until the desired composition is framed in the viewfinder before focusing. If your camera has a depth of field preview (stop-down) button or lever, depth of field can be observed while looking through the camera viewfinder.
- By using Internal Focusing (IF), the closest focusing distance of this lens is shorter than previous models at the same focal length, which utilized traditional helicoid focusing.

Focusing

Set your camera's focus mode selector according to this chart:

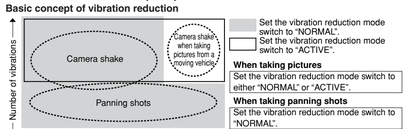
Camera's focus mode	Lens' focus mode	
	M/A	M
AF (C / S)	Autofocus with manual priority	Manual focus (Focus assist is available.)
M	Manual focus (Focus assist is available.)	

Autofocus with manual override (M/A mode)
1 Set the lens focus mode switch ⑭ to M/A. (Fig. A)
2 Autofocus is provided, but you can manually override the focus by operating the separate focus ring while lightly depressing the shutter release button or AF start (AF-ON) button on the camera body of cameras so equipped.
3 Remove your finger then press the shutter release button lightly or the AF start button once again to cancel manual focus and resume autofocus.

Getting good results with autofocus
Refer to "Notes on using wide or super-wide angle AF Nikkor lenses" on the back of this sheet.

Vibration reduction mode (VRⅡ)

Basic concept of vibration reduction



Setting the vibration reduction ON/OFF switch (Fig. B)
ON: Vibration is reduced while the shutter release button is lightly pressed and also at the instant the shutter is released. Because vibration is reduced in the viewfinder, auto/manual focusing and exact framing of the subject are easier.
OFF: Vibration is not reduced.

Setting the vibration reduction mode switch (Fig. C)
NORMAL: The vibration reduction mechanism primarily reduces camera shake, making smooth panning shots possible.
ACTIVE: The vibration reduction mechanism reduces camera shake when taking pictures and those from a moving vehicle. In this mode, the lens does not automatically distinguish panning from camera shake.

Notes on using vibration reduction
- Wait until the image in the viewfinder stops vibrating before fully depressing the shutter release button if you have lightly pressed the shutter release button.
- When taking panning shots, be sure to set the vibration reduction mode switch to NORMAL. If you move the camera in a wide arc when panning, vibration in the direction of that movement is not affected. For example, if you pan the camera horizontally, only vibration in the vertical direction is reduced, making smooth pans much easier.
- Due to the characteristics of the vibration reduction mechanism, the image in the viewfinder may become blurred after releasing the shutter.
- Do not turn the camera power OFF or remove the lens from the camera while the vibration reduction mode is in operation. (Otherwise, the lens may emit a chattering noise if the camera is shaken. This is not a malfunction. Turn the camera power ON again to correct this.)
- With cameras (such as the D70-Series and D50) featuring a built-in flash, vibration reduction does not work while the built-in flash is recycling.
- When the lens is mounted on a tripod, set the vibration reduction ON/OFF switch to OFF. However, set the switch to ON when using a tripod without securing the tripod head, or when using a monopod.
- If you set the AF start (AF-ON) button to ON on the camera, vibration reduction will not operate.

Flash photography using cameras with a built-in flash
- To prevent vignetting, do not use a lens hood ①.

Digital SLR cameras	Usable focal length / Shooting distance
D100/D200	• 18 mm / 1 m (3.3 ft.) or greater • 24 mm or longer / No restriction
D70s/D70/D50	• 24 mm / 1 m (3.3 ft.) or greater • 35 mm or longer / No restriction

Setting the aperture

Set the aperture on the camera body.

Variable aperture

Zooming the lens from 18mm to 200mm decreases the maximum aperture 1-1/3 of an f/stop. However, there is no need to adjust the aperture, because the camera automatically compensates for this. When taking pictures using a built-in or separate exposure meter, or taking flash photographs in the TTL or non-TTL auto flash mode, use the aperture displayed on the camera.

Using bayonet hood HB-35

Attaching the hood
Align the lens hood attachment index (▲) ② on the hood with the lens hood mounting index ④ on the lens, and turn the hood ① counterclockwise (as viewed from the camera side) until it click stops. (Fig. D)
- Make sure that the lens hood mounting index aligns with the lens hood setting index (—) ③.
- If the lens hood is not correctly attached, vignetting can occur.
- To facilitate attachment or removal of the hood, hold it by its base (around the lens hood attachment index) rather than its outer edge, turn the hood clockwise as viewed from the camera side to detach.
- To store the lens hood, attach it in the reverse position.

Detaching the hood
While holding its base (around the lens hood attachment index) rather than its outer edge, turn the hood clockwise as viewed from the camera side to detach.

Lens care

- Be careful not to soil or damage the CPU contacts ⑬.
- If the lens mount rubber gasket ⑫ is damaged, be sure to visit the nearest Nikon authorized dealer or service center for repair.
- Clean the lens surfaces with a blower brush. To remove dirt and smudges, use a soft, clean cotton cloth or lens tissue moistened with ethanol (alcohol) or lens cleaner. Wipe in a circular motion from center to outer edge, taking care not to leave traces or touch other parts of the lens.
- Never use thinner or benzene to clean the lens as this might damage it, result in a fire, or cause health problems.
- To protect the front lens element, an NC filter is available. A lens hood ① also helps protect the front of the lens.
- When storing the lens in its lens case, attach both front and rear caps.
- When the lens will not be used for a long time, store it in a cool, dry place to prevent mold. Also store the lens away from direct sunlight or chemicals such as camphor or naphthalene.
- Do not get water on the lens or drop it in water as this will cause it to rust and malfunction.
- Reinforced plastic is used for certain parts of the lens. To avoid damage, never leave the lens in an excessively hot place.

Standard accessories

- 72mm snap-on front lens cap LC-72　• Rear lens cap LF-1　• Bayonet hood HB-35
- Flexible lens pouch CL-1018

Optional accessories

- 72mm screw-in filters

Incompatible accessories

- Teleconverters (all models)　• Auto Ring BR-4 and all models of Auto Extension Ring PK, K Ring and Bellows focusing attachment.

Other accessories may not be suitable for use with this lens. For details, carefully read your accessories instruction manual.

Specifications

Type of lens:	G-type AF-S DX Zoom-Nikkor lens with built-in CPU and Nikon bayonet mount [Specially designed for use with Nikon digital SLR (Nikon DX format) cameras]
Focal length:	18mm–200mm
Maximum aperture:	f/3.5–5.6
Lens construction:	16 elements in 12 groups (3 aspherical lens and 2 ED lens elements)
Picture angle:	76°– 8°
Focal length scale:	18, 24, 35, 50, 70, 135, 200mm
Distance information:	Output to camera body
Zoom control:	Manually via separate zoom ring
Focusing:	Nikon Internal Focusing (IF) system (utilizing an internal Silent Wave Motor); manually via separate focus ring
Vibration reduction:	Lens-shift method using voice coil motors (VCMs)
Shooting distance scale:	Graduated in meters and feet from 0.5m (3 ft.) to infinity (∞)
Closest focus distance:	0.5m (1.6 ft.) at all zoom settings
No. of diaphragm blades:	7 pcs. (rounded)
Diaphragm:	Fully automatic
Aperture range:	f/3.5 to f/22 (at 18mm), f/5.6 to f/36 (at 200mm)
Exposure measurement:	Via full-aperture method
Attachment size:	72mm (P = 0.75mm)
Dimensions:	Approx. 77mm dia. x 96.5mm extension from the camera's lens mount flange
Weight:	Approx. 560g (19.8 oz)

Specifications and designs are subject to change without any notice or obligation on the part of the manufacturer.

Download from Www.Somanuals.com. All Manuals Search And Download.

Deutsch

Vielen Dank für Ihr Vertrauen in das AF-S DX VR Zoom-Nikkor 18-200mm f/3.5-5.6G IF-ED. DX Nikkor-Objektive sind speziell für den Gebrauch mit Nikon Digital-SLR-Kameras (Nikon DX-Format) ausgelegt, wie etwa der Modelle der D2-Serie sowie Modelle der D50. Bei Anbringen an Kameras im Nikon DX-Format entspricht der Bildwinkel des Objivs ca. dem 1,5-Fachen der Brennweite im 35-mm-Format. Machen Sie sich bitte vor dem Einsatz dieses Objektivs mit dem Inhalt dieser Bedienungsanleitung und den Hinweisen für sicheren Betrieb vertraut.

Hinweise für sicheren Betrieb

⚠ ACHTUNG

Keinesfalls zerlegen.
Beim Berühren der Innenteile von Kamera oder Objektiv droht Verletzungsgefahr. Überlassen Sie Reparaturen unbedingt ausschließlich qualifizierten Technikern. Kommt es durch einen heftigen Stoß (z. B. Fall auf den Boden) zu einem Bruch von Kamera oder Objektiv, so trennen Sie zunächst das Produkt vom Stromnetz bzw. entnehmen die Batterie(n) und geben es dann an eine autorisierte Nikon-Servicestelle zur Überprüfung ab.

Bei einer Störung sofort die Stromversorgung ausschalten.
Bei Entwicklung von Rauch oder ungewöhnlichem Geruch durch Kamera oder Objektiv entnehmen Sie sofort die Batterie(n); dabei vorsichtig vorgehen, denn es besteht Verbrennungsgefahr. Bei einem Weiterbetrieb unter diesen Umständen droht Verletzungsgefahr. Nach dem Abtrennen von der Stromversorgung geben Sie das Gerät an eine autorisierte Nikon-Servicestelle zur Überprüfung ab.

Kamera oder Objektiv keinesfalls bei Vorhandensein von brennbarem Gas einsetzen.
Wird elektronisches Gerät bei brennbarem Gas betrieben, so droht u. U. Explosions- oder Brandgefahr.

Keinesfalls durch Objektiv oder Sucher in die Sonne blicken.
Beim Betrachten der Sonne oder anderer starker Lichtquellen durch Objektiv oder Sucher droht eine permanente Schädigung des Sehvermögens.

Dem Zugriff von Kindern entziehen.
Es ist unbedingt dafür zu sorgen, dass Kleinkinder keine Batterien oder andere kleine Teile in den Mund nehmen können.

Beim Umgang mit Kamera und Objektiv unbedingt die folgenden Vorsichtmaßnahmen beachten:
- Halten Sie Kamera oder Objektiv stets trocken. Andernfalls droht Brand- oder Stromschlaggefahr.
- Handhaben oder berühren Sie die Komponente keinesfalls mit nassen Händen. Andernfalls droht Stromschlaggefahr.
- Vor einem längeren Nichtgebrauch des Objektivs bringen Sie den vorderen und hinteren Deckel an und bewahren das Objektiv geschützt vor direkter Sonnenlichteinwirkung auf. Andernfalls droht Brandgefahr wegen möglicher Fokussierung von Sonnenlicht durch die Linse auf Gegenstände.

Die wichtigsten Merkmale

- Dieses hochwertige Objektiv mit Innenfokussierung (IF) und Silent Wave Motor to drive the focusing mechanism, thus the "S" designation. As a result, autofocusing is smooth, silent, und almost instantaneous.
- Dieses Objektiv erlaubt Aufnahmen mit Verschlusszeiten ca. 4 Stufen* unter der, die sonst ohne Einsatz eines VR-Objektivs möglich wäre; auf diese Weise werden der Bereich der verfügbaren Verschlusszeitoptionen erweitert und Teleaufnahmen ohne Stativ erheblich vereinfacht.
  *Unter Nikon-Messbedingungen
- Mit dem Fokussierschalter kann zwischen dem Autofokus- (A) und dem manuellen Modus (M) umgeschaltet werden.
- Der Autofokus kann manuell umgangen werden und erlaubt sofortiges Wechseln von Autofokus auf manuelle Scharfeinstellung.
- Optimale Belichtungssteuerung in Verbindung mit Nikon-Kameras mit 3D-Matrix-Messung, weil die Aufnahmedistanz vom Objektiv an die Kamera übertragen wird.

Scharfeinstellung, Zoomen und Tiefenschärfe

Drehen Sie am Zoomring ⑤, bis die gewünschte Bildkomposition im Sucher zu sehen ist, bevor Sie die Scharfeinstellung vornehmen. Verfügt die Kamera über eine Taste oder einen Hebel zur Schärfentiefe-Vorschau (Abblendung), lässt sich die Schärfentiefe im Kamerasucher überprüfen.
- Durch Verwendung der Innenfokussierung (IF) ist die kleinste Fokussierentfernung dieses Objektivs bei derselben Brennweite kürzer als bei früheren Modellen mit herkömmlicher Schraubenfokussierung.

Fokussieren

Wählen Sie den Fokussiermodus der Kamera anhand der folgenden Tabelle:

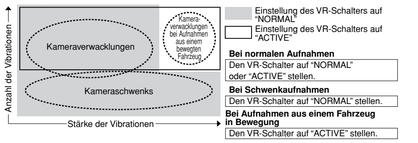
Fokussiermodus der Kamera	Fokussiermodus des Objektive	
	M/A	M
AF (C / S)	Autofokus-Modus mit manueller Einstellmöglichkeit	Manuelles Fokussieren (Entfernungsmessung verfügbar)
M	Manuelles Fokussieren (Entfernungsmessung verfügbar)	

Autofokus-Modus mit manueller Einstellmöglichkeit (M/A-Modus)
1 Stellen Sie den Fokussierschalter ⑭ am Objektiv auf M/A. (Abb. A)
2 Bei dieser Einstellung ist der Autofokus-Modus zwar aktiviert, kann aber jederzeit durch Drehen des separaten Entfernungseinstellrings und gleichzeitiges Antippen des Auslösers oder der AF-Starttaste (AF-ON) an Kameras, die über ein solches Bedienteil verfügen, deaktiviert werden.
3 Durch Freigabe und erneutes Antippen von Auslöser bzw. AF-Start-Taste wird die manuelle Scharfeinstellung deaktiviert und wieder in den Autofokus-Modus geschaltet.

Für beste Ergebnisse im Autofokusmodus
Siehe "Hinweise zum Gebrauch von AF Nikkor-Weitwinkel- oder Superweitwinkelobjektiven" auf der Rückseite dieser Anleitung.

Vibrationsreduktions-Funktion (VRⅡ)

Grundlagen der Vibrationsreduktion



Stellungen des ON/OFF-Ringschalter für Vibrationsreduktion (Abb. B)
ON: Unmittelbar nach dem Auslösen sowie auch bei Antippen des Auslösers werden Vibrationen reduziert. Vibration wird im Sucher reduziert, erleichtert daher die Schärfeneinstellung (A und M) und die Wahl des Bildausschnitts.
OFF: Keine reduzierte Vibration.

Stellungen des Vibrationsreduktions-Schalters (Abb. C)
NORMAL: Der Vibrationsreduktions-Mechanismus verringert Kameraverwacklungen und ermöglicht gleichmäßige Kameraschwenks.
ACTIVE: Der Vibrationsreduktions-Mechanismus reduziert das Verwackeln der Kamera beim Fotografieren aus einem Fahrzeug in Bewegung. In diesem Modus unterscheidet das Objektiv nicht automatisch zwischen Kameraschwenks und Verwacklungen.

Hinweise zur Verwendung der Vibrationsreduktion
- Warten Sie, bis sich das Bild im Sucher stabilisiert hat, bevor Sie den Auslöser nach kurzem Antippen ganz herunterdrücken.
- Bei Kameraschwenks muss der Vibrationsreduktions-Schalter auf NORMAL gesetzt sein. Wenn Sie die Kamera in einem weiten Bogen bewegen (z. B. bei einem Kameraschwenk), sind Vibrationen in die Richtung dieser Bewegung nicht betroffen. Wenn Sie die Kamera z. B. horizontal schwenken, werden nur vertikale Vibrationen reduziert, so dass gleichmäßige Kameraschwenks möglich werden.
- Aufgrund der Eigenschaften der VR-Funktion kann das Sucherbild nach dem Auslösen unscharf erscheinen.
- Solange der Vibrationsreduktions-Modus eingeschaltet ist, dürfen Sie keinesfalls die Stromversorgung der Kamera ausschalten oder das Objektiv von der Kamera abnehmen. (Andernfalls erzeugt das Objektiv u.U. ein klapperndes Geräusch, wenn die Kamera wackelt. Dies ist keine Fehlfunktion. Schalten Sie die Kamera einfach wieder ein und die VR-Funktion aus.)
- Bei Kameras mit eingebautem Blitz (z. B. der Serie D70 und D50) arbeitet die Vibrationsreduktion nicht, während sich der Blitz wieder auflädt.
- Befindet sich das Objektiv auf einem

Español

Muchas gracias por su compra del AF-S DX VR Zoom-Nikkor 18-200mm f/3.5-5.6G IF-ED. Los objetivos DX Nikkor están diseñados especialmente para ser utilizados con las cámaras SLR digitales Nikon (formato Nikon DX), como las de la serie D2 y la D50.
Cuando se instala en cámaras con formato Nikon DX, el ángulo de imagen del objetivo es equivalente a aproximadamente 1.5x de la distancia focal en formato de 35mm. Antes de utilizar este objetivo, lea estas instrucciones y las notas sobre uso seguro.

Notas sobre uso seguro

⚠ PRECAUCIÓN

No desarme el equipo El contacto con las piezas internas de la cámara o del objetivo puede provocar lesiones. Las reparaciones solamente deben ser ejecutadas por técnicos cualificados. Si a causa de un golpe u otro tipo de accidente la cámara o el objetivo se rompen y quedan abiertos, desenchufe el producto y/o retire la batería, y a continuación lleve el producto a un centro de servicio técnico autorizado Nikon para su revisión.
Apague inmediatamente el equipo en caso de funcionamiento defectuoso Si observa que sale humo o que la cámara o el objetivo desprenden un olor extraño, retire la batería inmediatamente, con cuidado de no quemarse. Si sigue utilizando el equipo corre el riesgo de sufrir lesiones. Después que haya retirado o desconectado la fuente de alimentación, lleve el equipo a un centro de servicio técnico autorizado Nikon para su revisión.
No utilice la cámara ni el objetivo en presencia de gas inflamable No utilice equipos electrónicos en presencia de gas inflamable, ya que podría producirse una explosión o un incendio.
No mire hacia el sol a través del objetivo ni del visor Mirar hacia el sol u otra fuente de luz potente a través del objetivo o del visor podría producirle daños permanentes en la vista.
Mantener fuera del alcance de los niños Se debe tener especial cuidado en evitar que los niños se metan en la boca pilas u otras piezas pequeñas.
Adopte las siguientes precauciones al manipular la cámara y el objetivo
• Mantenga la cámara y el objetivo secos. De no hacer esto podría producirse un incendio o una descarga eléctrica. • No manipule ni toque la unidad con las manos húmedas. De hacer eso podría recibir una descarga eléctrica. • Cuando el objetivo no vaya a utilizarse por un período de tiempo prolongado, colóquele las tapas frontal y trasera al objetivo y guárdelo alejado de la luz solar directa. De no hacer esto podría producirse un incendio, ya que el objetivo pudiera enfocar la luz solar directa sobre un objeto.

▶Principales funciones

• Es un objetivo de enfoque interno (IF) de gran calidad que utiliza un motor Silent Wave para accionar el mecanismo de enfoque, de ahí viene el "S". En consecuencia, el enfoque automático es suave, silencioso y prácticamente instantáneo.
• Con este objetivo, puede realizar fotografías con velocidades de obturación de aproximadamente 4 pasos* más lento de lo que podría hacerlo normalmente sin usar un objetivo VR, ampliando el intervalo de opciones de velocidad de obturación que pueden utilizarse y permitiendo que sea más fácil fotografiar con teleobjetivo sin trípode.
*Bajo condiciones de medición de Nikon
• El modo de enfoque automático (A) y el modo manual (M) pueden seleccionarse mediante le interruptor de modo de enfoque.
• Se incluye enfoque automático con prioridad manual que proporciona cambio automático de enfoque automático a enfoque manual.
• Es posible un control de exposición más preciso cuando el objetivo está montado en una cámara Nikon con posibilidad de medición matricial tridimensional porque la información de distancia del sujeto se transfiere del objetivo a la cámara.

Enfoque, zoom y profundidad de campo

En primer lugar, gire el anillo de zoom ⑤ hasta que quede encuadrada la composición que desee en el visor antes de enfocar. Si la cámara dispone de una palanca o botón de vista previa de profundidad de campo (cierre de iris), la profundidad del campo puede observarse mientras mira a través del visor de la cámara.
• Gracias al uso del sistema de enfoque interno (IF), la distancia de enfoque más cercana de est objetivo es más corta que la de modelos anteriores, las cuales utilizan el tradicional enfoque helicoidal, empleando la misma distancia focal.

Enfoque

Ajuste el selector de modo de enfoque de su cámara de acuerdo con este cuadro:

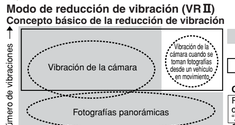
Modo de enfoque de la cámara	Modo de enfoque del objetivo	
	M/A	M
AF (C / S)	Enfoque automático con prioridad manual	Enfoque manual (Con ayuda de enfoque)
M	Enfoque manual (Con ayuda de enfoque)	

Enfoque automático con prioridad manual (Modo M/A)
1 Ajuste el interruptor del modo de enfoque ⑭ del objetivo a M/A. (Fig. A)
2 Se dispone de un enfoque automático pero puede dar prioridad al enfoque manual con el anillo de enfoque manual mientras oprime ligeramente el obturador o el botón del inicio de AF (AF-ON) en el cuerpo de la cámara si existe.
3 Saque su dedo y presione ligeramente el botón del obturador o el botón de inicio del autofoco otra vez para cancelar el enfoque manual y continuar con el autofoco.

Obtención de buenos resultados con el enfoque automático
Consulte "Notas sobre el uso de objetivos AF Nikkor de gran o súper-gran angular" en esta hoja.

Modo de reducción de vibración (VR II)

Concepto básico de la reducción de vibración



Ponga el interruptor del modo de reducción de vibración en la posición "NORMAL"
Ponga el interruptor del modo de reducción de vibración en la posición "ACTIVE"

Cuando se toman fotografías
Ponga el interruptor del modo de reducción de vibración en la posición "NORMAL" o "ACTIVE".
Cuando se toman fotografías panorámicas
Ponga el interruptor del modo de reducción de vibración en la posición "NORMAL".
Cuando se toman fotografías desde un vehículo en movimiento
Ponga el interruptor del modo de reducción de vibración en la posición "ACTIVE".

Ajuste del interruptor de anillo de ON/OFF de reducción de vibración (Fig. B)
ON: La vibración se reduce en el momento de levantarse el obturador y también cuando se mantiene ligeramente presionado el botón del obturador. Como se reduce la vibración en el visor, es más fácil de hacer el enfoque automático/manual y el encuadre exacto del objeto.
OFF: No se reduce la vibración.

Ajuste del interruptor de modo de reducción de vibración (Fig. C)
NORMAL: El mecanismo de reducción de la vibración reduce principalmente las vibraciones de la cámara, haciendo posibles las fotografías con panorámica suave.
ACTIVE: El mecanismo de reducción de la vibración reduce la vibración de la cámara cuando se toman fotografías desde un vehículo en movimiento. En este modo, el objetivo no distingue automáticamente entre las panorámicas y la vibración de la cámara.

Notas sobre el uso de la reducción de la vibración
• Espere hasta que la imagen en el visor deje de vibrar antes de presionar a fondo el botón de liberación del obturador, habiendo presionado antes ligeramente dicho botón.
• Cuando tome panorámicas, asegúrese de que el interruptor de modo de reducción de vibración está en posición NORMAL. Si mueve la cámara en un arco amplio como el de las panorámicas, la vibración en la dirección de dicho movimiento no se verá afectada. Por ejemplo, si mueve rápidamente la cámara en horizontal, únicamente se reducirá la vibración en la dirección vertical, haciendo que la panorámica sea mucho más suave.
• Es una característica del mecanismo de reducción de la vibración que se puede borronear la imagen en el visor después de levantarse el obturador.
• No desconecte el interruptor de la cámara a OFF ni extraiga el objetivo de la cámara mientras está funcionando el modo de reducción de la vibración. (En caso contrario, el objetivo puede emitir un ruido vibratorio si la cámara se mueve. Esto no es una avería. Conecte nuevamente el interruptor principal de la cámara para corregirlo.)
• Con cámaras que tienen un flash incorporado (como las de la Serie D70 y la D50), la reducción de la vibración no funciona mientras el flash incorporado está reciclando.
• Cuando el objetivo se instala en un trípode, ajuste el interruptor de ON/OFF de reducción de vibración en la posición OFF. Sin embargo, ajústelo en la posición ON si utiliza un trípode sin asegurar el cabezal del mismo, o cuando utilice un pie de cámara.
• Si coloca en ON el botón de inicio de enfoque automático (AF-ON) de la cámara, la reducción de la vibración no funcionará.

Fotografía con flash utilizando cámaras con flash incorporado

• Para evitar el viñetado, no utilice la visera del objetivo ①.

Cámaras SLR digitales	Longitud focal / distancia de fotografía utilizables
D100/D200	• 18 mm / 1 m (3,3 pies) o superior • 24 mm o superior / Sin restricción
D70s/D70/D50	• 24 mm / 1 m (3,3 pies) o superior • 35 mm o superior / Sin restricción

Ajuste de abertura

Ajuste la abertura en la cámara.

Abertura variable

Al hacer zoom con el objetivo de 18mm a 200mm, se reduce la apertura máxima en 1-1/3 de punto. Sin embargo, no es necesario ajustar la apertura porque la cámara hace automáticamente la compensación. Cuando haga fotografías utilizando un exposímetro incorporado o separado, o cuando se hacen fotografías con flash en el modo de flash TTL o no TTL utilice la apertura que aparece en la cámara

Utilización de la visera de la bayoneta HB-35

Instalación de la visera
Alinee el índice de acoplamiento de la visera del objetivo (▲▔▔) ② de la visera con el índice de montaje de la visera del objetivo ④ situado en éste y gire la visera ① en el sentido contrario a las agujas del reloj (vista desde el lateral de la cámara) hasta que quede fijada con un chasquido. (Fig. D)
• Asegúrese de que el índice de montaje de la visera del onjetivo se alinea con el índice de ajuste de la visera del objetivo (▔▔) ③.
• Si la visera del objetivo no está instalada correctamente, puede producirse efectos de viñeteado.
• Para facilitar la colocación o desmontaje de la visera, sujétela por la base (alrededor del índice de acoplamiento de la visera del objetivo) en lugar de por la parte externa.
• Para guardar la visera del objetivo, instálela en la posición inversa.

Desmontaje de la visera
Mientras sujeta la base (alrededor del índice de acoplamiento de la visera del objetivo) y no el borde exterior, gire la visera en el sentido de las agujas del reloj (vista desde el lateral de la cámara) para extraerla.

Forma de cuidar el objetivo

• Tener cuidado de no manchar o dañar los contactos de la CPU ⑬. • Si la junta de goma de montaje del objetivo ⑫ se daña, asegúrese de ir a un distribuidor autorizado Nikon o a un centro de servicio para que lo reparen. • Limpiar la superficie del objetivo con un cepillo soplador. Para eliminar la suciedad o las huellas, utilizar un trapo de algodón suave y limpio o papel especial para objetivos humedecido en etanol (alcohol) o limpiador de objetivos. Limpiar describiendo un movimiento circular del centro hacia fuera, teniendo cuidado de no dejar restos ni tocar otras partes. • No usar en ningún caso disolvente o benceno para limpiar el objetivo ya que podría dañarlo, provocar un incendio o causar problemas sanitarios. • Para proteger al objetivo frontal, está disponible un filtro NC. También una visera ① contribuirá a proteger la parte frontal del objetivo. • Cuando se guarde el objetivo en su estuche, colocarle las dos tapas. • Cuando no se vaya a utilizar el objetivo durante largo tiempo, guardarlo en un lugar fresco y seco para evitar la formación de moho. Guardar el objetivo, además, lejos de la luz solar directa y de productos químicos tales como alcanfor o naftalina. • No moje el objetivo ni dejarlo caer al agua, ya que se oxidaría y no funcionaría bien. • Algunas partes del objetivo son de plástico reforzado. Para evitar daños, no dejarlo nunca en un lugar excesivamente caliente.

Accesorios estándar • Tapa frontal de presión a 72 mm LC-72 • Tapa trasera de objetivo LF-1 • Visera de bayoneta HB-35 • Bolsa de objetivo flexible CL-1018
Accesorios opcionales • Filtros roscados de 72 mm
Accesorios incompatibles • Teleconvertidores (todos los modelos) • Anillo auto BR-4 y todos los modelos de anillo de autoextensión PK, anillo K, accesorio de enfoque de fuelle. Hay otros accesorios que pueden ser inadecuados para utilizar con este objetivo. Para más detalles, lea cuidadosamente el manual de instrucciones de su accesorio.

Especificaciones

Tipo de objetivo: Objetivo AF-S DX Zoom-Nikkor tipo G con CPU incorporada y montaje de bayoneta Nikon (Diseñado especialmente para utilizar con cámaras digitales SLR de Nikon – formato Nikon DX)
Distancia focal: 18 mm–200 mm
Abertura máxima: f/3.5-5.6
Estructura del objetivo: 16 lentes en 12 grupos (3 lentes asférica y 2 lentes ED)
Angulo de imagen: 76° – 8°
Escala de distancias focales: 18, 24, 35, 50, 70, 135, 200 mm
Información de distancia: Salida al cuerpo de la cámara
Zoom: Manual mediante anillo de zoom independiente
Enfoque: Sistema de enfoque interno de Nikon (IF) (con un motor Silent Wave interno); manual por anillo de enfoque independiente
Reducción de vibración: Método de desplazamiento del objetivo utilizando motores de bobina de voz (VCM)
Escala de distancias de la toma: Calibrado en metros y pies desde 0,5 m (3 pie) a infinito (∞)
Distancia de enfoque más cercana: 0,5m (1,6 pies) en todos los ajustes del zoom
No. de láminas del diafragma: 7 piezas (redondeadas)
Diafragma: Totalmente automático
Gama de aperturas: f/3.5 a f/22 (a 18mm), f/5.6 a f/36 (a 200mm)
Medición de la exposición: Por el método de plena abertura
Tamaño de accesorios: 72 mm (P = 0,75mm)
Dimensiones: Diám. de aprox. 77 mm x 96,5 mm de alargue de la brida de la montura del objetivo de la cámara
Peso: Aprox. 560 g (19,8 onzas)

Las especificaciones y los diseños están sujetos a cambio sin previo aviso ni obligación por parte del fabricante.

Italiano

Grazie per aver acquistato l'obiettivo AF-S DX VR Zoom-Nikkor 18-200mm f/3.5-5.6G IF-ED. Le lenti DX Nikkor sono appositamente progettate per essere utilizzate con le fotocamere reflex digitali Nikon (formato Nikon DX), quali le serie D2 e D50.
Se l'obiettivo è montato su una fotocamera Nikon formato DX, l'angolo dell'immagine è circa 1,5x della lunghezza focale rispetto al formato 35 mm. Prima di utilizzare l'obiettivo, leggere queste istruzioni e le note sulle operazioni di sicurezza.

Note sulle operazioni di sicurezza

⚠ ATTENZIONE

Non smontare
Toccando le parti interne della fotocamera o dell'obiettivo si potrebbero causare dei guasti. Le riparazioni devono essere eseguite solamente da tecnici qualificati. Qualora, in caso di colpo accidentale o di qualsiasi altro incidente, la fotocamera o l'obiettivo dovessero rompersi, portare il prodotto presso un punto assistenza Nikon autorizzato per l'ispezione, dopo averlo disinserito dalla presa e/o rimosso la batteria.
In caso di malfunzionamento, disattivare immediatamente la fotocamera.
Qualora dalla fotocamera o dall'obiettivo dovesse uscire del fumo o un odore insolito, rimuovere immediatamente la batteria, facendo attenzione a non ustionarsi. Continuando a utilizzare la fotocamera, sussiste il rischio di lesioni. Dopo aver rimosso o scollegato la fonte di alimentazione, portare l'apparecchio presso un punto assistenza Nikon autorizzato per l'ispezione.
Non usare la fotocamera o l'obiettivo in presenza di gas infiammabili
In caso contrario, si potrebbe verificare un'esplosione o un incendio.
Non guardare il sole in modo diretto attraverso l'obiettivo o il mirino
Guardando in modo diretto il sole o qualsiasi altra fonte intensa di luce, si è soggetti al rischio di indebolimento permanente della vista.
Tenere lontano dalla portata dei bambini
Fare molta attenzione che i bambini non ingeriscano le batterie o altre piccole parti.
Nell'utilizzo della fotocamera e dell'obiettivo, osservare le seguenti precauzioni
• Mantenere la fotocamera o l'obiettivo asciutti. In caso contrario, si potrebbero verificare un incendio o scosse elettriche.
• Non maneggiare né toccare l'unità con le mani bagnate. In caso contrario, si potrebbero verificare scosse elettriche.
• Se si prevede di non utilizzare l'obiettivo per un periodo prolungato, montare entrambi i tappi di protezione e riporlo lontano dalla luce diretta del sole. In caso contrario, potrebbe verificarsi un incendio, poiché la lente potrebbe indirizzare la luce del sole su un qualsiasi oggetto.

Caratteristiche principali

• È un obiettivo ad alte prestazioni e messa a fuoco interna (IF) che si avvale di un motore Silent Wave per azionare il meccanismo di messa a fuoco, e per questo il nome del modello include una "S". La messa a fuoco automatica pertanto risulta particolarmente agevole, silenziosa e quasi istantanea.
• Con questo obiettivo, è possibile acquisire immagini alla velocità di scatto circa 4 volte* più lenta dell'apertura diaframma rispetto al normale senza l'utilizzo di obiettivo VR, ampliando la gamma di velocità di scatto applicabili e semplificando la ripresa di telefoto mediante treppiede.
*In base alle condizioni di misurazione Nikon.
• La modalità di messa a fuoco automatica (A) o manuale (M) può essere facilmente selezionata attraverso l'interruttore del modo di messa a fuoco.
• E' prevista la funzione di messa a fuoco automatica con esclusione manuale, che garantisce la commutazione immediata dalla modalità di messa a fuoco automatica a quella manuale.
• Un controllo dell'esposizione più accurato è possibile quando questo obiettivo viene montato su una macchina Nikon dotata della capacità di misurazione a matrice 3D, in quanto le informazioni relative a soggetto e distanza vengono trasferite dall'obiettivo alla macchina fotografica.

Messa a fuoco, zoom e profondità di campo

Ruotare innanzitutto l'anello dello zoom ⑤ finché la composizione desiderata sia contenuta nel mirino, quindi procedere alla messa a fuoco. Se la vostra fotocamera è dotata di pulsante o leva per l'anteprima della profondità di campo (stop-down), è possibile osservare la profondità di campo guardando nel mirino della fotocamera.
• Quando si utilizza la messa a fuoco interna (IF), la dintanza di messa a fuoco di questo obiettivo è più corta di quella dei modelli precendenti con la stessa lunghezza focale, i quali usavano la messa a fuoco elicoidale del tipo tradizionale.

Messa a fuoco

Posizionare il selettore del modo di messa a fuoco della fotocamera in conformità alla seguente tabella:

Modo di messa a fuoco della fotocamera	Modo di messa a fuoco dell'obiettivo	
	M/A	M
AF (C / S)	Messa a fuoco automatica con precedenza manuale	Messa a fuoco manuale (Aiuto per la messa fuoco disponibile)
M	Messa a fuoco manuale (Aiuto per la messa fuoco disponibile)	

Messa a fuoco automatica con esclusione per il funzionamento in manuale (modalità M/A)
1 Impostare l'interruttore del modo di messa a fuoco ⑭ dell'obiettivo su M/A. (Fig. A)
2 Così la messa a fuoco automatica funziona, ma è possibile escludere manualmente la messa a fuoco agendo sull'anello di messa a fuoco manuale separato mentre si preme leggermente il pulsante di rilascio dell'otturatore o il pulsante di avvio AF (AF-ON) sul corpo della fotocamera negli apparecchi che ne sono provvisti.
3 Rimuovere il dito e quindi premere di nuovo, leggermente, il tasto di scatto o il tasto di avvio AF in modo da cancellare la messa a fuoco manuale e ritornare alla messa a fuoco automatica.

Per ottenere la migliore messa a fuoco
Far riferimento a "Note sull'utilizzo degli obiettivi Nikkor AF grandangolo e supergrandangolo" sul questo foglio.

Modalità di riduzione delle vibrazioni (VR II)

Concetto di base della riduzione delle vibrazioni

Impostare l'interruttore della modalità di riduzione vibrazioni su "NORMAL"
Impostare l'interruttore della modalità di riduzione vibrazioni su "ACTIVE"

Durante l'acquisizione di immagini
Impostare l'interruttore della modalità di riduzione vibrazioni su "NORMAL" o su "ACTIVE".
Durante la ripresa panoramica
Impostare l'interruttore della modalità di riduzione vibrazioni sul "NORMAL".
Durante l'acquisizioni di immagini da un veicolo in movimento
Impostare l'interruttore della modalità di riduzione vibrazioni su "ACTIVE".

Impostazione dell'interruttore anellare di attivazione/disattivazione riduzione delle vibrazioni (Fig. B)
ON: La vibrazione risulta ridotta al momento del rilascio del tasto di scatto e anche mentre questo si trova premuto a metà. Siccome le vibrazioni sono ridotte nel mirino, risultano semplificate sia la regolazione manuale/automatica della messa a fuoco che l'esatta inquadratura del soggetto.
OFF: Le vibrazioni non vengono ridotte.

Impostazione dell'interruttore di selezione della modalità di riduzione delle vibrazioni (Fig. C)
NORMAL: Il meccanismo di riduzione delle vibrazioni riduce innanzitutto la vibrazione della fotocamera, semplificando l'acquisizione di immagini panoramiche.
ACTIVE: Tenendo presente che il meccanismo di riduzione delle vibrazioni agisce sulla stabilità della fotocamera durante l'acquisizione di immagini su un veicolo in movimento. In questa modalità, l'obiettivo non riesce a distinguere automaticamente le panoramiche dalle vibrazioni della fotocamera.

Note sull'utilizzo del meccanismo di riduzione delle vibrazioni
• Attendere finché l'immagine visualizzata nel mirino arresti le vibrazioni, premere leggermente il pulsante di rilascio dell'otturatore, quindi premerlo a fondo.
• Durante l'acquisizione di immagini panoramiche, regolare l'interruttore di selezione della modalità di riduzione delle vibrazioni su NORMAL. Spostando la fotocamera ad ampio raggio come durante l'acquisizione delle panoramiche, la vibrazione nella direzione del movimento non sarà influenzata. Ad esempio, riprendendo una panoramica con la fotocamera in orizzontale, si ridurrà solamente la vibrazione in senso verticale, semplificandone quindi l'acquisizione.
• Come cambiato rilevato durante l'acquisizione di riduzione delle vibrazioni, l'immagine nel mirino potrebbe apparire sfocata dopo aver rilasciato il tasto di scatto.
• Non spegnere la fotocamera né rimuovere l'obiettivo dalla fotocamera mentre è in funzione la modalità di riduzione delle vibrazione. (In caso contrario, qualora la fotocamera vibri, l'obiettivo potrebbe emettere un rumore battente. Questo non è da vedere come malfunzionamento. Per rimediare a questo inconveniente, riaccendere (ON) la macchina fotografica.)
• Con le fotocamere dotate di flash incorporato (tipo quelle della serie D70 e D50), quando il flash incorporato è in fase di ricarica, non è possibile utilizzare la funzione di riduzione delle vibrazioni.
• Nel caso in cui l'obiettivo sia montato su un treppiede, impostare l'interruttore di ON/OFF della riduzione delle vibrazioni su OFF. Tuttavia, qualora si utilizzi un treppiede senza fissarne la parte superiore, o qualora si utilizzi un cavalletto monopiede, impostare l'interruttore su ON.
• Se si imposta su ON il tasto di avvio AF (AF-ON) sulla fotocamera, la funzione di riduzione della vibrazione non potrà attivarsi.

Fotografia con flash usando fotocamere con un flash incorporato

• Per evitare la vignettatura (riduzione della luminosità ai margini dell'immagine), non usare un paraluce ①.

Fotocamere reflex digitali	Lunghezza focale / distanza di scatto utili
D100/D200	• 18 mm / 1 m o superiore • 24 mm o superiore / Nessun limite
D70s/D70/D50	• 24 mm / 1 m o superiore • 35 mm o superiore / Nessun limite

Impostazione dell'apertura

Impostare l'apertura indicata sul corpo della fotocamera.

Apertura variabile

La variazione focale dal 18 mm a 200 mm comporta una diminuzione dell'apertura massima di 1-1/3 f/stop. Tuttavia, non è necessario regolare l'apertura poiché la fotocamera possiede un dispositivo di compensamento automatico. Durante le riprese con l'uso dell'esposimetro incorporato o separato, o durante le riprese con il flash in modalità TTL o non-TTL, utilizzate l'apertura indicata sulla fotocamera.

Utilizzo del paraluce a baionetta HB-35

Collegamento del paraluce
Allineare l'indice di collegamento (▲▔▔) ② sul paraluce all'indice di montaggio del paraluce ④ sull'obiettivo, e ruotare il paraluce ① in senso antiorario (visto dal lato della fotocamera) finché si blocchi in posizione. (Fig. D)
• Verificare che l'indice di montaggio del paraluce sia allineato all'indice di regolazione del paraluce (▔▔) ③.
• In caso di paraluce non adeguatamente collegato potrebbe verificarsi una riduzione di luminosità ai margini dell'immagine.
• Per semplificare il collegamento o la rimozione del paraluce, afferrarlo dalla propria base (attorno all'indice di collegamento del paraluce) e non dai bordi esterni.
• Depositare il paraluce collegandolo in posizione invertita.

Smontaggio del paraluce
Afferrando il paraluce dalla base (attorno all'indice di collegamento del paraluce) e non dal bordo esterno, ruotarlo in senso orario guardando dal lato della fotocamera, in modo tale da rimuoverlo.

Cura e manutenzione dell'obiettivo

• Fate attenzione a non sporcare o danneggiare i contatti CPU ⑬. • Nel caso in cui la guarnizione in gomma della montatura dell'obiettivo ⑫ sia danneggiata, provvedere alla relativa riparazione presso il rivenditore o il centro assistenza autorizzato Nikon più vicino. • Pulite la superficie delle lenti con un pennello a pompetta. Per rimuovere impronte e macchie, fate uso di un fazzoletto di cotone, soffice e pulito, o di una cantina ottica leggermente imbevuti con alcool o con l'apposito liquido "lens cleaner". Strofinate delicatamente con movimento circolare dal centro verso l'esterno, facendo attenzione a non lasciare tracce o toccare altre parti. • Per la pulizia non utilizzate mai solventi o benzina, che potrebbero danneggiare l'obiettivo, causare incendi o problemi di intossicazione. • Il filtro NC è utile per proteggere l'elemento anteriore dell'obiettivo. Anche il paraluce ① contribuisce validamente a proteggere la parte anteriore dell'obiettivo. • Prima di porre l'obiettivo nell'astuccio o in borsa, montate entrambi i coperchi protettivi. • Se rimane a lungo inutilizzato, riponetelo in un ambiente fresco e ventilato per evitare la formazione di muffe. Tenetelo inoltre lontano dalla luce sole o da agenti chimici come canfora o naftalina. • Non bagnatelo e fate attenzione che non cada in acqua. La formazione di ruggine potrebbe danneggiarlo in modo irreparabile. • Alcune parti della montatura sono realizzate in materiale plastico rinforzato. Per evitare danni non lasciate mai l'obiettivo in un luogo eccessivamente caldo.

Accesori in dotazione • Tappo anteriore da 72mm dia. LC-72 • Tappo posteriore LF-1 • Paraluce a baionetta HB-35 • Portaobiettivo morbido CL-1018
Accessori opzionali • Filtri a vite da 72mm
Accessori non utilizzabili • Teleconvertitori (tutti i modelli) • L'Anello Auto BR-4, tutti i modelli di Anelli di Prolunga Automatica PK, gli anelli K e i dispositivi di messa a fuoco a soffietto. Gli altri accessori possono non essere adatti per l'uso con questo obiettivo. Per ulteriori informazioni, leggere attentamente il manuale di istruzioni degli accessori.

Caratteristiche tecniche

Tipo: Obiettivo AF-S DX Zoom-Nikkor tipo G con CPU incorporato e attacco a baionetta Nikon (appositamente progettato per essere utilizzato con le fotocamere reflex digitali – Nikon formato DX -)
Lunghezza focale: 18 mm–200 mm
Apertura massima: f/3.5-5.6
Costruzione obiettivo: 16 elementi in 12 gruppi (3 elementi asferico da obiettivo e 2 elementi obiettivo ED)
Angolo di campo: 76° – 8°
Scala della lunghezza focale: 18, 24, 35, 50, 70, 135, 200mm
Dati distanze: Uscita verso il corpo fotocamera
Zoom: Manuale mediante anello dello zoom separato
Messa a fuoco: Sistema di messa a fuoco interna (IF) Nikon (utilizza un motore interno Silent Wave); manuale mediante anello di messa a fuoco separato
Riduzione delle vibrazioni: Metodo di spostamento obiettivo utilizzando i motori a bobina della fonia (VCMs)
Scala delle distanze di ripresa: Graduata in metri e piedi da 0,5 m (3 ft.) all'infinito (∞)
Distanze focale minima: 0,5m in tutte le impostazioni di zoom
Nr. delle lamelle diaframma: 7 pz. (arrotondati)
Diaframma: Completamente automatico
Gamma di apertura: Da f/3.5 a f/22 (a 18 mm), da f/5.6 a f/36 (a 200 mm)
Misurazione dell'esposizione: Attraverso il metodo di apertura massima
Misura dell'accessorio: 72 mm (P = 0,75mm)
Dimensioni: Estensione di 77 mm x 96,5 mm dia., circa, dalla flangia di montaggio obiettivo della fotocamera
Peso: Circa 560 g

Le specifiche e i disegni sono soggetti a modifica senza preavviso o obblighi da parte del produttore.

中国语

谢谢您购买 AF-S DX VR 变焦尼克尔 18-200mm f/3.5-5.6G IF-ED 镜头。DX 尼克尔镜头是专为与尼康SLR数字式（尼康DX型）相机，包括D2系列和D50一起使用时设计的。
安装在尼康DX型相机上时，35mm型相机镜头的拍摄角度相当于大约1.5倍焦距。在使用本镜头之前，请仔细阅读本说明书及安全操作注意事项。

安全操作注意事项

⚠警告

勿自行拆卸
触动相机或镜头的内部零件可能会导致受伤。修理只能由有资格的维修技师进行。如果由於掉落或其它事故导致相机或镜头拆散，在切断产品电源和（或）取出电池后，请将产品送至尼康授权的维修中心进行检查。
发生故障时立刻关闭电源
如果您发现相机或镜头冒烟或发出异味时，请立刻取出电池，注意避免燃烧。若继续使用可能导致受伤。请在取出电池或切断电源后，将器材送到尼康授权的维修中心进行检查维修。
勿在易燃气体环境中使用相机或镜头
如果在易燃气体环境中使用电子设备，可能会导致爆炸或火灾。
勿通过镜头或取景器观看太阳
通过镜头或取景器观看太阳或其它强光源，可能会导致永久性的视觉损伤。
请勿在儿童伸手可及之处保管本产品
请特别注意避免婴幼儿将电池或其它小部件放入口中。
使用相机和镜头时应注意以下事项
• 保持相机或镜头干燥，否则可能导致火灾或引起电击。
• 请勿使用湿手处置或接触设备，否则可能引起电击。
• 如果镜头要长期搁置不用，请盖上前镜头盖和后镜头盖，并在储存镜头时要避免直接日照，否则可能导致火灾，因为镜头可能使日光聚焦于某一物体。

主要特色

• 这是一个高性能的内部对焦（IF）镜头，采用无声波导马达驱动对焦机构，以英文“无声”的第一字母 S 为标志。自动对焦过程十分平顺、无声，几乎一瞬间就能完成。
• 使用此镜头，能够比平时不用减振镜头大约慢四档*的快门速度进行拍摄，扩大了快门速度还择的可用范围，并且更容易地进行不用三角架的远距离拍摄。
*在尼康测量条件下
• 用对焦模式开关可方便地选择自动对焦（A）和手动对焦（M）模式。
• 自动对焦备有手动撤销功能，可以随时从自动对焦换到手动对焦。
• 当此镜头装在有 3D 矩阵测光能力的尼康相机身上时，还可以进行更精确的曝光控制，因为这时镜头会将主体距离的信息传送到相机身上。

聚焦、变焦与景深

对焦前先转动变焦环⑤，直至在取景窗框架内获得满意的构图。如果相机上有景深预览（定格）钮或杆，则可在从取景窗观看时观察景深。
• 在同样焦距的情况下，通过内部调焦(IF)，本镜头的最近调焦距离要短于以往各型号的螺旋式调焦。

对焦

按下表设定相机对焦模式：

相机聚焦模式	镜头聚焦模式	
	M/A	M
AF (C/S)	自动对焦和手控先决	手控聚焦（有辅助聚焦功能）
M	手控聚焦（有辅助聚焦功能）	

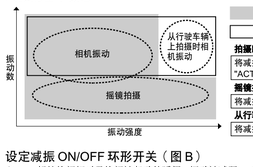
自动对焦和手控补偿（M/A 模式）

1 将对焦模式开关⑭设定在 M/A（图 A）。
2 仍有自动对焦，但可通过操作独立的手控对焦环，来手控补偿对焦，此时，应轻压快门释放钮或相机上备有的 AF 起始钮（AF-ON）。
3 移开手指，然后再轻轻按一次快门钮或AF起动钮，即可取消手动对焦模式而恢复到自动对焦模式。

使用自动聚焦功能以取得良好效果
参阅该页的“有关使用宽角或超宽角 AF Nikkor 镜头的注意事项”。

减振模式（VR Ⅱ）

减振的基本概念



将减振模式开关设定为"NORMAL"
将减振模式开关设定为"ACTIVE"

拍摄时
将减振模式开关设定在"NORMAL"或"ACTIVE"。
摇镜拍摄时
将减振模式开关设定在"NORMAL"。
从行驶的车辆上拍摄时
将减振模式开关设定在"ACTIVE"。

设定减振 ON/OFF 环形开关（图 B）
ON： 轻按快门钮时及快门被起动的瞬间，振动被减弱。由于观景窗中的影像振动减少，自动／手动对焦及对主体取景构图都变得较容易。
OFF： 振动不减少。

设定减振模式的开关（图 C）
NORMAL：减振机构主要减少相机振动，可顺利地进行摇镜拍摄。
ACTIVE： 减振装置减少拍摄时和从行驶车辆上拍摄时的相机振动。在此模式时，镜头并不从相机振动自动辨别摇镜。

有关使用减振功能的注解
• 轻按快门释放钮后，等观景窗中的影像停止振动后再完全按下快门释放钮。
• 摇镜拍摄时，务必将减振模式开关设定为NORMAL（普通）。摇镜拍摄时如果将相机作较大的弧形移动，在移动方向上的振动将不受影响。例如，如果沿水平方向摇镜拍摄，则能减少垂直方向的振动，可更顺利地进行摇镜拍摄。
• 快门起动过后，减振机构的特征、观景窗内的影像可能会变得模糊。
• 在减振模式有效时，请不要关闭相机电源或从相机拆下镜头。（否则相机晃动时，镜头可能会发出轻微噪音，此并非故障。只需重开相机电源就可恢复正常。）
• 使用有内置闪光燈的相機（如D70系列與D50）拍摄时，如果内置闪光燈在使用中，则振动减弱功能无效。
• 将镜头装在三脚架上时，应将减振ON/OFF开关设定为OFF（关）。但是，当将镜头装在三脚架上而未固定三脚架头时或使用单脚架架时，宜将减振ON/OFF开关设定为ON（开）。
• 如将相机上的 AF 启用(AF-ON)按钮置于 ON 处，消除震动功能则无效。

使用内置闪光灯的相机拍摄闪光照片

• 为避免晕影，请勿使用镜头遮光罩①。

SLR 数字式相机	适用焦点距离 / 摄影距离
D100/D200	• 18mm / 1m以上 • 24mm以上 / 无限制
D70s/D70/D50	• 24 mm / 1m以上 • 35mm以上 / 无限制

光圈设定

在相机机身上设定光圈。

可变光圈

镜头从 18mm 变焦至 200mm 时最大光圈会减少 1-1/3 级。但你无需调整光圈，因为相机会自动对此作补偿。在使用内置的或独立的测光表摄影，或以 TTL 或非 TTL 闪光模式摄影时，应使用相机上显示的光圈。

使用卡口式镜头罩 HB-35

安装镜头罩
将镜头罩上的镜头遮光罩接头标志(▲▔▔)②对准镜头上的镜头遮光罩安装标志④，然后逆时针旋转镜头罩①（从相机一侧看时），直至听到卡咔声转不动为止。（图 D）
• 确认镜头遮光罩安装标志对准镜头遮光罩设定标志（▔▔）③。
• 若未正确安装镜头罩，会产生晕映。
• 为了便于装卸镜头罩，应抓住其底座（镜头遮光罩安装标志部分）而不是外缘。
• 存放镜头罩时，要反方向装在相机上。

拆除镜头罩
按住镜头遮光罩的底部（镜头遮光罩安装标志部分）而不

Free Manuals Download Website

http://myh66.com

http://usermanuals.us

http://www.somanuals.com

http://www.4manuals.cc

http://www.manual-lib.com

http://www.404manual.com

http://www.luxmanual.com

http://aubethermostatmanual.com

Golf course search by state

http://golfingnear.com

Email search by domain

http://emailbydomain.com

Auto manuals search

http://auto.somanuals.com

TV manuals search

http://tv.somanuals.com